

県をまたぐ移動時の新型コロナウイルス感染防止対策チェックリスト

令和3年4月8日

愛媛県立医療技術大学 危機管理委員会

- ① 緊急事態宣言対象地域及びまん延防止等重点措置対象地域への移動は原則禁止とします。また、それ以外の本学が指定する地域（直近1週間の新規感染者数が人口10万人当たり2.5人を超える都道府県）についても、やむを得ない場合を除き、自粛を要請します。
上記にかかわらず、特別な理由により緊急事態宣言対象地域、まん延防止等重点措置対象地域及びそれ以外の本学が指定する地域に移動する場合は、チェックリストの感染防止対策を全て確認したうえで各自チェックし、時間に余裕をもって事前にクラス顧問に提出してください。
- ② 訪問中はチェックリストの「他県訪問中の対応」の遵守をお願いします。
- ③ 帰県後2週間は健康観察期間とし、「3密回避」などの感染対策を行い、毎日の体温を測るなど体調管理に留意してください。
- ④ 訪問（帰省等）先が上記①の2.5人以上に該当しない場合は、事前にクラス顧問に提出する必要はありませんが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、県をまたぐ訪問（帰省等）の前にチェックリストに基づくチェックを行ってください。

提出日	年	月	日
所属:			
学年:	第	学年	
学籍番号:			
氏名:			
・訪問先の都道府県名 ()			
・滞在期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)			
・目的 ()			

新型コロナウイルス感染防止対策チェックリスト

1 他県訪問前の対応

<input type="checkbox"/>	「愛媛県立医療技術大学新型コロナウイルス感染症に対するBCP」の警戒レベルが1〜3であることを確認する。
<input type="checkbox"/>	特別な理由により県外に移動する場合には、その必要性を慎重に判断する。 【緊急事態宣言対象地域及びまん延防止等重点措置対象地域への移動は原則禁止、それ以外の本学が指定する地域への移動も自粛を要請】
<input type="checkbox"/>	訪問先の自治体における感染の発生状況や感染防止対策等をHPなどで確認する。
<input type="checkbox"/>	必ず保護者とも相談し、他県への移動を慎重に判断する。
<input type="checkbox"/>	訪問当日でも発熱等の風邪症状がある場合は、訪問を見合わせる。
<input type="checkbox"/>	自身の感染の可能性を踏まえ、愛媛県への帰県後、2週間以内に不特定多数の方と接する場所に出向く予定がないことを確認する。
<input type="checkbox"/>	厚生労働省（COCOA）及び訪問先自治体の接触確認アプリを登録する。

2 他県訪問中の対応

<input type="checkbox"/>	発熱等の風邪症状が生じた場合には、その後の活動は見合わせる。
<input type="checkbox"/>	マスクは可能な限り常時着用し、マスクなしでは会話をしない。 ※濃厚接触者の定義: 陽性者と1m程度の距離で、マスクをせずに15分以上会話をした場合など

※裏面につづく

2 他県訪問中の対応（続き）

<input type="checkbox"/>	面会相手や時間、移動経路、訪問場所など、訪問中の主な行動を記録に残す。
<input type="checkbox"/>	感染リスクが高まる「5つの場面（飲酒を伴う懇親会等、大人数や長時間に及ぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わり）」を意識して行動する。（添付のチラシを確認のこと）
<input type="checkbox"/>	3密対策が取られていない、又は混雑して他人との距離が確保できない店舗（飲食店、小売店など）の利用は控える。（東京都、大阪府などでは感染拡大防止や衛生対策等に取り組む店舗にステッカーが掲示されています。）

3 帰県後の対応

<input type="checkbox"/>	緊急事態宣言対象地域、まん延防止等重点措置対象地域及びそれ以外の本学が指定する地域から帰県後2週間は健康観察期間とし、その間の対面授業には出席しないこと。（授業は欠席扱いとなります。）
<input type="checkbox"/>	体温を測定するなど健康管理を適切に行い、発熱等の風邪症状が生じた場合には、大学や医療機関等に連絡し、相談・受診すること。 （※大学：089-958-2111） （※受診相談センター：089-909-3483）
<input type="checkbox"/>	帰県後2週間は、不要不急の外出は控えるなど、自身の感染の可能性も踏まえた行動をとること。
<input type="checkbox"/>	帰県後、実習施設の定める期間内は臨地実習に参加しないこと。

（参考：感染リスクを減らすために推奨する行動例）

<ul style="list-style-type: none">・石けんと流水による手洗いやアルコール消毒液による手指消毒をこまめに行う。・人混みを避け、他人との距離は1～2mにするなど、フィジカルディスタンスを保つ。・公共交通機関はラッシュを避け、空いている時間帯を利用する。また、車内などの密閉空間での会話は控える。・会食等については、混雑した店舗の利用は避け、必要最小限の人数、時間で実施し、大皿から取らずに最初に取り分けるなどの配慮を行う。・現金の取り扱いを減らすため、交通系ICカードやキャッシュレス決済を利用する。
